

2015 年度 第 4 回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 平成 27 年 12 月 16 日(月) 13 時 00 分～16 時 00 分
2. 場所 建築会館
3. 出席者 多田元英, 五十嵐規矩夫, 井戸田秀樹, 稲岡真也, 岡本哲美, 兼光知己,
(敬称略) 向野聡彦, 澤本佳和, 吹田啓一郎, 田川泰久, 竹内 徹, 津田恵吾,
寺田岳彦, 中込忠男, 成原弘之, 平島岳夫, 松本由香(岡崎委員代理),
緑川光正, 見波 進, 宇佐美徹(記録)
欠席:一戸康生, 岡崎太一郎, 越智健之, 河野昭彦, 笠井和彦, 木村祥裕,
田中 剛, 西山 功, 原田幸博, 増田浩志

4. 配付資料

- 04-01 2015 年度第 4 回鋼構造運営委員会議事予定(多田主査)
- 04-02 2015 年度第 3 回鋼構造運営委員会議事録(案)(宇佐美)
- 04-03 構造本委員会議案(多田主査)
- 04-04 鋼構造座屈小委員会(井戸田幹事)
- 04-05 鋼構造接合小委員会(増田委員)
- 04-06 鋼構造制振小委員会(緑川委員)
- 04-07 鋼構造耐火設計小委員会(平島委員)
- 04-08 鋼構造環境小委員会(兼光委員)
- 04-09 鋼構造素材小委員会(見波委員)
- 04-10 鋼構造塑性設計小委員会(五十嵐委員)
- 04-11 鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会(岡崎委員)
- 04-12 鋼構造設計規準改定小委員会立ち上げに関する検討事項(田川委員)
- 04-13 質疑回答の一覧(井戸田幹事)
- 04-14 鋼構造運営委員会全体の 2016 年度予算申請額(多田主査)

5. 議事内容

- (1) 資料 04-02 に基づき宇佐美より前回議事録の報告をして承認された。
- (2) 資料 04-03 に基づき多田主査より構造本委員会の報告がなされた。
- ・ 「調査研究関係専門委員会運営に関する共通規程」第 7 条（委員の資格，委嘱・解嘱，任期，兼任数）を確認のこと。
 - ・ 本会既刊刊行物英文版【電子書籍】の価格，2015 年度大会（関東）概要が報告された。
 - ・ 小委員会活動成果報告書の提出(≒2/15)があるので，小委員会主査は対応のこと。
 - ・ 鋼構造運営委員会の 2016 年度予算配分は 381 万円（去年は 406 万円）。
 - ・ 来年度大会の PD は耐火のテーマで 3 日目の AM を第一希望として，企画書を提出した。
→タイトルを見直しのこと。

- ・ 2016 年日本建築学会大賞業績候補として、構造委員会から松井千秋先生を推薦。
- ・ 刊行企画として、『鋼構造柱脚設計施工ガイドブック』と『鋼構造耐火設計指針』を提出し承認された。
- ・ 鋼構造塑性設計指針の査読者は倉本洋先生（阪大）と元結正次郎先生（東工大）。
- ・ 各小委員会の 2016 年度活動計画案を提出した。
- ・ 鋼構造制振設計小委員会の廃止、鋼構造設計規準改定小委員会の設置を申請し承認された。
- ・ 火災性状・温度解析WGへの西野委員の委嘱が承認された。
- ・ 今後発行する書籍の英文名については、各運営委員会内で統一的なネーミングを心がけること。

(3) 資料 04-04~04-11 に基づき各担当委員より小委員会の報告がなされた。

座屈小委員会(資料 04-04, 井戸田幹事)

- ・ 今後小委員会の査読に入る。運営委員会の査読担当は次回決定する。

接合小委員会(資料 04-05, 松本委員(増田委員代理))

- ・ 梁端 WG のシンポジウム実施計画について紹介があり、2016 年 9 月 21 日に実施する旨が承認された。
- ・ 2017 年度の大会 PD 案を考えてほしい。

制振小委員会(資料 04-06, 緑川委員)

- ・ 正誤表 HP に記載した。次回は 1 月に開催し、申送り事項等をまとめる予定。

耐火設計小委員会(資料 04-07, 平島委員)

- ・ 9/11 は指針改定の内容について議論した。
- ・ シンポジウムの参加者は 29 名で、CFT への取り組みに関して質疑があった。
- ・ 鋼構造運営委員会での査読委員は見波委員と寺田委員。

環境小委員会(資料 04-08, 兼光委員)

- ・ 12/7 開催の講習会の参加者は 77 名であった。
- ・ 今後は残された課題等について検討していく。

素材小委員会(資料 04-09, 見波委員)

- ・ SN490B のデータベースは公開を開始した。一部データに誤記があったため、PD 資料の正誤表を公開する予定。
- ・ WG メンバーの追加として、西川委員、木村委員の申請があり承認された。
→事務局に連絡し、本委員会の附議とすること。
- ・ 出版物は設計や施工に役立つ鋼材ハンドブックのようなもの考えており、2017 年の出版を目指す。

塑性設計小委員会(資料 04-10, 五十嵐委員)

- ・ 10/1 までで小委員会の検討は完了した。12 月の中ごろに運営委員会査読に移行するが、本委員会での査読を 3 月末に開始したいので、1 月末までに査読をお願いしたい。
- ・ 運営委員会の査読者は津田委員と澤本委員。

鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会(資料 04-11, 松本委員(岡崎委員代理))

- ・ S 規準は 100p 弱で、Web 出版は有償とする。
- ・ S 規準の本委員会査読対応は年内に取りまとめる予定。

- ・ 鋼構造接合部設計指針の英訳を開始した。
- (4) 資料04-12に基づき田川委員より鋼構造設計規準改定小委員会の基本方針案等について説明がなされた。
- ・ 規準・指針のあり方(全体の構成や名称)について議論がなされた。
 - ・ 10-15年後の改定を見据え、若手をメンバーに加える。
→素材関係は見波委員が担当する。接合関係は増田委員が選出し、材料メーカーとして鉄連から、実務者として JSCA から選出する。
 - ・ 事例等は現在に合うものに変える。改定なので今の時代を反映した新しい知見を加えたいので、連絡してほしい。
 - ・ 現在対象の材料強度は 400-570N/mm² 級までであるが、思想を記述してもらえれば準用ができる。
 - ・ ステンレス，アルミの取り扱いについて議論された。
 - ・ 古い内容も学会 HP のアーカイブから確認できる。例えばリベットは無くすが解説に残す。
- (5) 資料 04-13 に基づき井戸田幹事より学会図書 の 質疑回答状況について確認がなされた。
- (6) 資料 04-14 に基づき多田主査より鋼構造運営委員会全体の 2016 年度予算（旅費）申請額について説明がなされた。
- ・ 各小委員会への予算配分は年明けから小委員会主査とメール審議により決定する。

6. その他

- ・ 今後の重点審議は次の通り。
 - ◇ 2015 年度第 5 回(3 月)運営委員会:耐火設計小委員会
 - ◇ 2016 年度第 1 回(5 月)運営委員会:素材小委員会
 - ◇ 2016 年度第 2 回(7 月)運営委員会:環境小委員会
- ・ 次回の運営委員会の日時，場所は以下の通り。
 - 第 5 回 2016 年 3 月 15 日(火)，13:00-17:00，於:建築会館